

日本初記録となるフエダイ科魚類を確認、「オオアカムツ」と命名

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

このたび、総合研究博物館・連合農学研究科・水産学部の研究チームは、鹿児島県大隅諸島から得られたフエダイ科ハマダイ属魚類 4 個体を形態学的・遺伝学的に調査し、これらが *Etelis boweni* (エテリス・ボーウェンアイ) であることを確認し、新標準和名として「オオアカムツ」と命名しました。本研究によって日本ならびに北西太平洋における本種の標本に基づく初めての記録となるとともに、分布の北限記録となりました。本研究の成果は、2023年3月8日に日本魚類学会が発行する魚類学雑誌電子版で出版されました。

つきましては、次のとおりお知らせいたしますので、是非とも取材・報道いただきますようよろしくお願いいたします。

【概要】

オオアカムツはこれまでに近縁なハチジョウアカムツと混同されていましたが、2021年に Andrewsらによって紅海からオーストラリア西部およびサモアにかけてのインド・西太平洋産標本に基づいて新種として記載されました。一方、日本国内でも魚市場関係者や漁師さんは昔から両種を識別しており、オオアカムツはハチジョウアカムツより太くて大きくなり、脂も多いため、高値で取引されていました。本研究により今後はオオアカムツとハチジョウアカムツは区別して扱うことが可能になります。なお、大隅諸島ではオオアカムツとハチジョウアカムツが同時に漁獲されていることが確認されており、両種は同所的に生息すると考えられます。

【掲載論文】

鹿児島県大隅諸島から得られた北西太平洋初記録のフエダイ科魚類 *Etelis boweni* オオアカムツ (新称)

【著者】 ジョン ビョル・大富 潤・本村 浩之

【掲載誌】 魚類学雑誌

【DOI】 10.11369/jji.22-018

【関連ページ】

総合研究博物館 本村浩之教授 ホームページ

<http://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/motomura.html>



オオアカムツの写真 (KAUM-I. 160343, 標準体長 390.5 mm, 鹿児島大学総合研究博物館所蔵)



ハチジョウアカムツの写真 (KAUM-I. 160342, 標準体長 407.9 mm, 鹿児島大学総合研究博物館所蔵)

【問い合わせ先】

鹿児島大学総合研究博物館 館長・教授

本村 浩之（モトムラ ヒロユキ）

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30

TEL：099-285-8111

E-mail：motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp